

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 26 年度第 1 回）議事録

日 時 平成 26 年 4 月 30 日（水）10：00～11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 門田守人理事 中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 25 年度第 12 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を荒井保明理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 報告事項

1. がん研究 10 ヶ年戦略について

- ・平成 26 年度からのがん研究 10 年戦略が策定され文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣の連名により 3 省が一体的に計画を推進していくとの報告がなされた。

2. 第 1 回臨床研究に係る制度のあり方に関する検討会について

- ・4 月 26 日に第 1 回臨床研究に係る制度の在り方に関する検討会が行われたとの報告がなされた。
- ・臨床研究に関しての法制化については注視していく必要があるとの意見が出された。
- ・医学研究を法律で縛ることになるのは良いとは思わない。不正が散見される現状は問題であるが、倫理指針等で対応すべきであり法制化は慎重にとの意見が出された。

3. 「研究における不正行為」「研究費の不正使用」に関するガイドラインの見直し等に係る説明会について

- ・文部科学省が実施した「研究における不正行為」「研究費の不正使用」に関するガイドラインの見直し等に係る説明会について報告がなされた。
- ・不適正経理防止のための体制については、昨年来取り組んでいるところであるが、部分的に不完全となっているところもあり、改善に向けて努力していく。
- ・ガイドラインを受けて、センターとして何が必要となり何時までに行うか等、今後検討していくこととした。

4. 東京大学医科学研究所とのクロスアポイント制度の導入について
 - ・東京大学医科学研究所とのクロスアポイント制度の導入について報告がなされた。

5. QC 活動奨励表彰制度の創設について
 - ・QC 活動奨励表彰制度の創設について報告がなされた。
 - ・センター全体の活動であるため、要旨には「職場環境の改善」を含めることとした。

6. 日米首脳会談（概要）について
 - ・日米首脳会談において、安倍総理の発言の中に、日米のがん研究機関の間で協力が合意されたことを歓迎する旨述べられたことが紹介された。

7. 月次決算（3月分）
 - ・3月月次決算については、平成25年度決算が確定する6月理事会に報告することとし、今回は医事統計についての報告がなされた。
 - ・中央病院8B病棟は休棟する予定であるとの報告がなされた。

Ⅲ. 審議事項

- ・特になし